

株式会社 JEPLAN  
2025 年 1 月 30 日

## JEPLAN、山口県「GX 戰略地域推進コンソーシアム」に参画 —ケミカルリサイクル PET 樹脂製造事業を核に、GX 産業創出に貢献—

株式会社 JEPLAN（本社：神奈川県、代表取締役 執行役員社長：高尾 正樹、以下「JEPLAN」）は、山口県が主導する「GX 戰略地域推進コンソーシアム」に会員として参画することをお知らせします。

本コンソーシアムは、国が 2026 年に創設を予定する「GX 戰略地域<sup>1</sup>」の指定に向け、山口県内のコンビナートを起点に、脱炭素エネルギーの導入、資源循環型産業の構築、さらには GX 新産業の創出を官民連携で推進することを目的に設立されました。JEPLAN は、独自技術を核としたディープテック企業として、「GX 新産業の集積」および「資源循環・炭素循環の推進」などの GX 産業創出の重点プロジェクトにおいて、各種取り組みを通じて、その実現に積極的に貢献してまいります。

**JEPLAN****山口県**

### ■JEPLAN が推進する取り組み（予定）

JEPLAN は、使用済み PET 製品を化学的に分解し、高純度モノマーへ再生する独自のケミカルリサイクル技術を有しています。神奈川県川崎市では、年間 2 万トン規模の商用ケミカルリサイクルプラントを運営し、製造した PET 樹脂を PET ボトル原料として飲料メーカーなどの顧客へ供給し、量産・販売実績を積み重ねてきました。これらの実績と技術力を基盤に、山口県が「資源循環・炭素循環」の重点プロジェクトとして位置づける岩国・大竹地域において、ケミカルリサイクル PET 樹脂製造拠点の構築に参画する計画です。

当社は、本取り組みを循環型プラスチックの社会実装をさらに拡張する次のステージと位置づけています。商用実績のある独自技術を活用し、既存コンビナート企業の GX 化に資するプロセス転換を推進するとともに、これまで活用が難しかった工業用フィルムなど多様な PET 素材の再生や、新たな需要と市場の創出にも取り組みます。

これにより、ボトル to ボトルを含む PET 全体の循環を着実に拡大するとともに、GX ファンド・エコシステムとの連携を通じて、地域と産業の双方に価値をもたらす GX プロジェクトの加速と、より持続可能な資源循環モデルの構築を目指します。

本件に関する取材のお問い合わせ先

株式会社 JEPLAN 広報担当

電話：044-223-7898 E-mail：jeplan\_info@jeplan.co.jp

今後も JEPLAN グループでは「あらゆるものを循環させる」というミッションの実現に向けて、引き続き国内外のパートナーとの連携を進め、グループ一丸となりサーキュラーエコノミーを牽引していくことに努めてまいります。

\*1 経済産業省「GX 戰略地域制度」：[https://www.meti.go.jp/policy/energy\\_environment/global\\_warming/gx\\_strategy\\_area.html](https://www.meti.go.jp/policy/energy_environment/global_warming/gx_strategy_area.html)

### ■令和 7 年度第一回コンビナート連携会議

2026 年 1 月 29 日に開催された連携会議において、セレモニーを実施しました。セレモニーでは、山口県の決意表明の標語である「MADE IN JAPAN の復権は山口県から」を中央に掲げ、会議に出席した自治体および企業等のロゴをあしらった葉を配置したボードを制作。自治体・企業等の代表者が同ボードを囲み、記念撮影を行いました。



### ■山口県 (<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/>)

### ■株式会社 JEPLAN (<https://www.jeplan.co.jp/>)

代表者：代表取締役 執行役員社長 高尾 正樹

設立：2007 年 1 月

主な事業内容：PET ケミカルリサイクル技術関連事業（対象：PET ボトル・ポリエチレン）など

JEPLAN グループは「あらゆるものを循環させる」をミッションに掲げ、サーキュラーエコノミーの実現を目指しています。廃 PET (PET ボトル、ポリエチレン繊維等) を対象に、独自の PET ケミカルリサイクル技術を用いて分子レベルに分解し、不純物を除去することで、石油由来と同等品質の再生素材に生まれ変わらせています。この独自技術を用いて、リサイクルに取り組むことで、限りある資源の循環を実現し、CO<sub>2</sub>の排出量削減にも寄与しています。

なお、JEPLAN グループはペットリファインテクノロジー株式会社（神奈川県川崎市）と北九州響灘工場（福岡県北九州市）の 2 拠点で PET ケミカルリサイクルプラントを運営しており、国内外への技術ライセンス事業も推進しています。

---

本件に関する取材のお問い合わせ先

株式会社 JEPLAN 広報担当

電話：044-223-7898 E-mail：jeplan\_info@jeplan.co.jp